

■誤嚥対処法学ぶ 食べ物を気管内に飲み込んでしまう誤嚥（ごえん）への対処法を学ぶ研修が南砺市天池（福光）の特別養護老人ホ



ーム「やすらぎ荘」で開かれ、介護職員81人が知識を高めた。写真。

誤嚥は飲み込む機能が衰えた高齢者によく起こり、肺炎を招く恐れがある。南砺中央病院の言語聴覚士、毛利永吏子さんが講師を務めた。

毛利さんは、食べ物を飲み下す機能が衰えた時の症状は「むせる」だけではなく、食欲低下や食事時間が長くなることも機能低下のサインと指摘。誤嚥を防ぐためにはミキサー食など、まとまりやすく付着しにくい食べ物を提供する工夫が大切と話した。口腔（こうくう）ケアの重要性も説いた。

参加者は実際にプリンとクラッカーを食べ比べ、飲み込みやすさの違いを体感した。